

## 大会規定

### 試合準備

1. 試合日時・会場について、第1回戦～2回戦は事前に決定連絡する。その他の試合については大会組合せホームページもしくはFAXなど
2. ベンチ入り人数は原則としてメンバー表にある15名までとする。15名を超える場合は審判、相手チームの了解を得ること。ただし、メンバー表に記入の無い選手は試合に出場することはできない。
3. 監督・コーチは選手と同じユニフォームを着用しなければならない。またスコアラーはそのチームの一員であることがわかる服装であること
4. 試合会場に到着するのは試合試合指定時間の30分前とする。これに遅刻し連絡もなく指定時間に遅れ、不可抗力と求められない場合の遅刻チームは不戦負けとする。
5. 試合のベンチは抽選番号若番号を1塁側とする。

### 試合要綱

1. 球審は『連盟理事、その地区登録審判員、連盟から依頼した審判員』が担当し、塁審は各チームが担当する。その際自らのベンチの反対側の塁審を担当する。尚、運動をするのに相応しい服装であること
2. 大会使用球はナイガイC型軟式球とする。各チームより2球出し合いこれを用いて試合を行う。
3. シートノックは行わない。
4. 試合はトーナメント方式とし、1ゲーム7イニングとし、試合開始1時間30分を超えた時点で即試合終了とする。3回以降12点、5回以降7点以上の点差が生じた場合はコールドゲームとする。
5. 1時間30分を経過した時点のスコアを試合結果とする。カウント、ランナー有無表裏関係なく、時間経過時点で即終了とする。同点の場合は両監督による抽選とする。
6. 決勝戦はコールドゲーム及び試合時間1時間30分は適用せず、7イニングまでとし、決着がつかない場合はプレーオフ方式にて決着がつくまで行う。プレーオフは7イニング終了時のメンバーで、1アウト、3塁ランナー(1番打者)、2塁ランナー(2番打者)を走者とし、打席に3番打者より始める。同点の場合は継続打順により繰り返す。  
(継続打順:たとえば前回は6番打者で終了していれば、5番打者が3塁走者6番打者が2塁走者、打者は7番打者からとなる。)
7. 試合の勝敗は5イニング以上を過ぎて点差のある場合に決定する。後攻がリードの時は5回表が終了していれば試合成立とする。それを満たしていない場合はノーゲームとなり再試合を行う。
8. 審判の判定を遵守し、抗議・質問は監督及び主将に限る。
9. 試合中のファールボールは1塁側に飛んだ場合は1塁側、同じく3塁側に飛んだ場合は3塁側の選手が拾い汚れを拭き取ってから球審に渡す。
10. 1塁側はラインカーと石灰(ライン引きもお願いします)、3塁側はベースを用意すること。
11. 以上の事項以外は全日本軟式野球連盟、少年野球学童部ルールを適用する。